

ペットを電車に乗せることは可能なのか？

電車の中で犬を連れている人を見かけたことはありますか？
そもそもペットを電車に乗せていいの？と疑問に思う方もいるかもしれませんが、ルールを守れば犬連れでの乗車は可能です。

ただし、電車を利用するすべての人が動物好きとは限りません。
ケース（キャリーバッグ、リュック、クレートなど）の使用など、犬を電車に乗せるときのルールや注意点を解説します。

各鉄道会社の条件を満たしていれば、ペットと一緒に電車に乗ることができますが、鉄道会社によって条件は異なるので、事前に利用する路線のルールを確認しておきましょう。

例.JRの乗車ルール

JRの電車に犬を連れて乗車する際の基本的なルールは以下の3つです。

①キャリーバッグなどのケースに入れる

縦・横・高さの合計が90cm程度、かつ一番長い辺が70cm以内のケース（キャリーバッグ、リュック、クレートなど）に入る犬で、ケースに収納した状態で有料手回り品として持ち込む場合に限り、犬も電車に乗せることができます。

②ケースと合わせて1kg以内

犬を収納するケースと犬の体重の合計が10kg以内でなければ、犬を電車に乗せることはできません。

③犬の体を外に出さないこと

駅構内や電車の中で、犬をケースから出すことはできません。JRでは、抱っこやスリング、抱っこひもなどを使って電車を利用することはできません。

これらのルールからケースの大きさや重さを考えると、実際には、中型犬や大型犬は電車を利用することができず、小型犬か子犬であれば、「手回り品」として一緒に電車に乗ることができます。ただし、列車が混雑しているときは断られる場合もあるので注意してください。

ペットの乗り物酔いが不安な場合

電車に乗る際に、愛犬が酔ってしまう場合は、事前に動物病院で酔い止めの薬を処方してもらっておくとよいでしょう。薬を飲む時間や量などの使い方については、かかりつけの獣医師にしっかり確認してください。